

## ステンレスボールタップ取扱説明(単式用)

弊社製のボールタップをご使用の際は、下記事項を十分ご理解の上ご使用ください。  
下記項目を守らずに使用されますと、ボールタップの性能が十分に発揮されず、止水不良等をおこします。

### ○取り付け前

1. ボールタップを設置するときは後日、保守点検・交換ができる場所にしてください。
2. 配管終了後、ボールタップを取り付ける前に、配管に十分な通水をして配管内のゴミを完全に除去した後にボールタップを取り付けてください。  
配管内にゴミが残っているとシートパッキンに付着し、止水不良を起こします。
3. ボールタップを配管に取り付けるときシールテープをご使用の場合、配管内にシールテープが入らないようにしてください。  
ボールタップのシートパッキンに付着し、止水不良を起こします。
4. タンク壁面に穴を開け、締め付けナットで固定して使用するとき、ボールタップの排出口が真下を向くようにし、動かないようにしっかり固定してください。
5. フロートがタンクなどの外壁に接触しないようにしてください。  
接触すると、フロートが動かなくなり、液体が出なくなったり、止水しなくなったりします。
6. タンクには必ずオーバーフロー管と満水警報機を設置してください。その際、満水警報機はボールタップ取り付け穴と同じ高さで作動するようにしてください。  
オーバーフロー管はボールタップからの排水が完全に排出できる口径の配管をしてください。  
オーバーフロー管の設置高さは、満水警報機の作動位置より数十ミリ上に設定してください。  
オーバーフロー管から出た液体は周りに害を与えない場所に排出できるようにしてください。
7. ボールタップのレバー周りのボルトとナットは締めたり、緩めたりしないでください。  
検査時に調整をして出荷していますので、止水しなくなったり、動作しなくなったりします。  
**「危険」この項目の内容を実施しないと、家屋・家具・機械・設備・人等に重大な被害が及ぶことがあります。**

### ○取り付けるとき

1. ボールタップおよびフロートに落とす・たたく等の外圧を与えないでください。  
ボールタップに外圧を加えた場合、作動不良を起こし止水しなくなり甚大な被害が出る場合があります。  
フロートに外圧を加えた場合、浮力が不足しボールタップが止水しなくなり甚大な被害が出る場合があります。
2. 止水位置を調整するためにレバーを曲げる場合は、必ずレバーの中央部分を曲げてください。  
曲げる際は、レバーにキズをつけない。曲げる角度は30度以内。大きなアールをつける。

### ○取り付けが終わったら

1. ボールタップに通水し、フロートの浮力だけで完全に止水するか確認してください。

### ○止水しなかった場合

1. 流体圧が0.59Mpa以下であるか確認してください。
2. 0.59Mpa以下でも止水しないときは、シートパッキンにゴミが付着している可能性があります。  
テコレバーと本体を接続しているボルト・ナットをはずすと、スピンドルが取り出せます。  
スピンドルは固定されていませんので、ストンと下に落ちます。必ず手で受け止めてください。  
スピンドルにシートパッキンが固定されていますので、そこにゴミが付着していたら、取り除いてください。シートパッキンにゴミが付着していない場合は、本体のオリフィス部を確認してください。

1と2で異常が無い場合は弊社にご連絡ください。

谷津テックス株式会社  
TEL 048-955-2301  
FAX 048-955-6415